

議員提出議案第3号

安倍晋三元首相の「国葬」に反対する決議

秩父市議会会議規則第14条の規定により、次のように提出します。

令和4年9月21日

提出者 秩父市議会議員 出 浦 章 恵

賛成者 秩父市議会議員 金 崎 昌 之

秩父市議会議長 堀 口 義 正 様

安倍晋三元首相の「国葬」に反対する決議

先の参議院選挙終盤の7月8日、街頭演説中の安倍晋三元首相が銃撃され死亡した。いかなる理由があろうとも暴力により人命を奪うことは許されない。

さて、7月14日岸田首相は突然、安倍元首相の葬儀を「国葬」にすると表明し、法的根拠がない中、その後の閣議では9月27日に執行することを決定した。しかし、この「国葬」については8月に行われた世論調査をみても反対が賛成を大きく上回っており、国民の多くがこれを支持していない。

岸田首相は「国葬」にする理由として、「憲政史上最長にわたり首相を務めた」「日本経済の再生や外交などで貢献した」こと等を挙げている。

しかし、一方で安倍政権下における集団的自衛権行使容認や安保関連法の強行、森友・加計・桜を見る会など政治の私物化、公文書改ざんや廃棄、国会での虚偽答弁等々が指摘されており、安倍元首相への評価は大きく分かれている。

また、安倍政権下の経済政策である「アベノミクス」は、消費税を5%から10%に増税し、今日の円安により国民生活に負担を強いている。

この、安倍元首相の全額を国費で賄う「国葬」は、これら全てを不問に付し「素晴らしい貢献をした政治家であった」と礼賛するものであり、反対である。

以上、決議する。

令和4年9月21日

秩父市議会